

<第 11 回>

中部経済学インターゼミの開催

2018年12月8日(土)13時00分~18時05分、名古屋市立大学滝子キャンパス2号館にて「中部経済学インターゼミ」を開催します。11回目の開催となる今回は、8大学26ゼミが参加し、66の研究報告を行います。一般の方も入場無料・事前申込なしでご入場いただけます。

【開催趣旨】

中部経済学学生コンソーシアムは、中部圏の経済関連学部を持つ大学間での学生交流を目的に2008年に設立されました。学生が研究報告を行う場として、毎年「中部経済学インターゼミ」を開催しており、今年で11回目となります。インターゼミでは、報告の順位づけなどは行っておりません。各大学のゼミナールが研究報告(30分程度)を行い、別のゼミの学生が研究報告内容に対し質疑を行い、その後に討論を行います。

【報告タイトル】(詳細はWebサイト: <http://www.ceis.jp/2018.html> に掲載)

13:00~18:05

- 【会場A】 学力と環境(富山大学岩田ゼミ)／志望度が大学資源の活用に与える影響~キャンパスライフ満喫手段の話~(中京大学内田ゼミ)／大学の最適授業料の推定(名古屋大学根本ゼミ)他5タイトル
 - 【会場B】 三重県南部の地域経済について(愛知学院大学近藤ゼミ)／西尾市の観光・産業・高齢化について(中京大学山田ゼミ)／飛島村の将来(中京大学近藤ゼミ)他5タイトル
 - 【会場C】 ネット通販から見る配送業者の労働者不足問題(名古屋学院大学上山ゼミ)／各国における女性労働者のキャリア進出とその促進に関する一考察(南山大学太田代ゼミ)／現代日本の社会政策—女性雇用を中心に—(愛知学院大学玉井ゼミ)他5タイトル
 - 【会場D】 ゲーム市場の経済分析(中京大学増田ゼミ)／違法ダウンロードと被害(名古屋学院大学伊沢ゼミ)／有料動画配信サービスがTVに与える影響(名古屋学院大学佐々木ゼミ)他5タイトル
 - 【会場E】 後発医薬品の普及に関して(南山大学寶多ゼミ)／待機児童はどのように生まれるのか(愛知大学國崎ゼミ)／都道府県別貧困率の要因分析(中京大学湯田ゼミ)他5タイトル
 - 【会場F】 サッカーを世界で一番愛している国はどこか(愛知学院大学三好ゼミ)／財政の持続可能性に関する一考察(中京大学平澤ゼミ)／出生率の地域間格差(中京大学大森ゼミ)他5タイトル
- その他に、会場G(6タイトル)、会場H(8タイトル)、会場I(4タイトル)があります

【中部経済学インターゼミの開催】

- **開催日時** : 2018年12月8日(土)13:00~18:05
- **開催場所** : 名古屋市立大学滝子キャンパス2号館
〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
- **主催** : 中部経済学学生コンソーシアム
- **参加大学** : 愛知大学、愛知学院大学、中京大学、富山大学、名古屋大学、名古屋学院大学、名古屋市立大学、南山大学
- **参加ゼミ** : 26ゼミ／研究報告66本
- **問合せ** : 名古屋市立大学経済学部 森田研究室 (morita@econ.nagoya-cu.ac.jp)、川端研究室 (kawabata@econ.nagoya-cu.ac.jp)